

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年5月24日(2007.5.24)

【公開番号】特開2005-286825(P2005-286825A)

【公開日】平成17年10月13日(2005.10.13)

【年通号数】公開・登録公報2005-040

【出願番号】特願2004-99727(P2004-99727)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/335 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/335 P

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月29日(2007.3.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の画素から出力された各々の信号と、所定値を比較して、欠陥画素を検出する第1の欠陥画素検出部と、

前記第1の欠陥画素検出部で検出された欠陥画素からの信号を補正する第1の補正部と、

前記第1の欠陥画素検出部によって検出された欠陥画素に対する補正が施された前記複数の画素から出力された各々の信号と、所定値を比較して、欠陥画素を検出する第2の欠陥画素検出部と、

前記第2の欠陥画素検出部で検出された欠陥画素からの信号を補正する第2の補正部と、

前記第1の欠陥画素検出部と前記第2の欠陥画素検出部とで、それぞれの所定値が異なるように値を設定する設定制御部とを備えたことを特徴とする欠陥画素補正装置。

【請求項2】

前記第1の欠陥画素検出部において検出された欠陥画素の画素情報を記憶する記憶部と、

前記記憶部に記憶された欠陥画素の画素情報に基づいて、複数の画素から出力された信号におけるエッジを検出するエッジ検出部とを更に備え、

前記第2の補正部は、前記第2の欠陥画素検出部で検出された欠陥画素の信号がエッジであると検出された場合には、補正を変更することを特徴とする請求項1に記載の欠陥画素補正装置。

【請求項3】

前記設定制御部は、前記第1の欠陥画素検出部の所定値よりも、前記第2の欠陥画素検出部の所定値を低く設定することを特徴とする請求項1または請求項2に記載の欠陥画素補正装置。

【請求項4】

請求項1乃至請求項3のいずれか1項に記載の欠陥画素補正装置を備える撮像装置であつて、

前記複数の画素に被写体像を結像するレンズと、

前記複数の画素から出力された信号をA/D変換し、前記第1の欠陥画素検出部に信号

を出力するA/D変換器とを更に備えたことを特徴とする撮像装置。

【請求項5】

複数の画素から出力された各々の信号と、所定値を比較して、欠陥画素を検出する第1の欠陥画素検出工程と、

前記第1の欠陥画素検出工程で検出された欠陥画素からの信号を補正する第1の補正工程と、

前記第1の欠陥画素検出工程によって検出された欠陥画素に対する補正が施された前記複数の画素から出力された各々の信号と、所定値を比較して、欠陥画素を検出する第2の欠陥画素検出工程と、

前記第2の欠陥画素検出工程で検出された欠陥画素からの信号を補正する第2の補正工程と、

前記第1の欠陥画素検出工程と前記第2の欠陥画素検出工程とで、それぞれの所定値が異なるように値を設定する設定制御工程とを備えたことを特徴とする欠陥画素補正方法。

【請求項6】

請求項5に記載の欠陥画素補正方法をコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。

【請求項7】

請求項6に記載のプログラムを記憶したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。